○　スタンドパイプ

１　主な用途

道路や地面の地下（ピット）に埋設された埋設型消火栓へ接続し、消火栓の放水口を丈夫な金属パイプで地上へ出し、消防用ホースを接続する為の器具です。

消火栓はピットの中に設置されている為、直接消防用ホースを接続すると、放水時の勢いで消防用ホースに無理な力が掛かったり、ピットの縁と擦れて傷が付いたりし、ホースにダメージを与え破裂する危険性がありますが、これを防止する為の器具です。

地下のピットに腕を突っ込んで作業することなく、楽な姿勢で消火栓との脱着が行えます。

硬さのある消防用吸管を消火栓に接続する場合には吸管離脱器を利用します。



スタンドパイプ（引上げ式）



吸管離脱器

２　基準・規準

結合金具に接続する消防用接続器具の構造、性能等に係る技術基準
（平成５年６月３０日消防消第９８号、消防予第１９７号）

３　呼称・種類

呼称：４０，５０，６５，７５，９０，１００
種類：差込式，ねじ式
消火栓接続側とホース接続側は上記の組合せとなります。

４　機器の構造（差込式の一般構造）





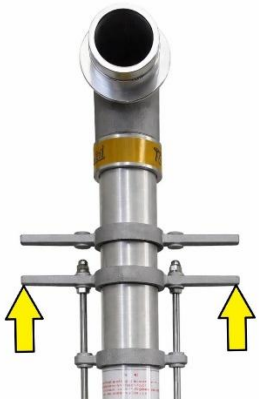
消火栓接続口内部
（差込式結合金具）

５　使用方法（差込式の場合）

消火栓に接続する場合には、消火栓側の接続金具に押し付けて接続します。

取り外す場合には固定レバーを支えにして引上げレバーを両手で握ると、消火栓側の結合金具の爪によるロックが解除されますので、そのまま消火栓から引き抜くと離脱することができます。

吸管離脱器の場合は、ロープを引張ると消火栓より引き抜くことができます。



スタンドパイプの解除



吸管離脱器の解除

６　維持方法

いざという時に安全にご使用頂けるよう、定期的に下記の点検を実施してください。

・　スタンドパイプの引上げレバーの操作に連動して差込式受け口内部の爪がスムーズに動くか

吸管離脱器のロープを引っ張った時に差込式受け口内部の爪がスムーズに動くか

・　部品の接続部に緩みが無いか

・　外面に割れや使用上有害な傷、汚れが無いか

・　差込式受け口内面のパッキンに傷は無いか

７　注意点

・　消火栓を急激に開放すると、水流によるウォーターハンマー現象が起き、この衝撃でスタンドパイプ及び消火栓が破損する可能性があり大変危険です。

消火栓はゆっくりと開放してください。

特にスタンドパイプに消防吸管を接続した場合、ウォーターハンマー現象が顕著に現れやすく、消火栓との結合部に多大な力が掛かりますので、吸管離脱器のご使用を推奨致します。

・　消火栓へ接続する際、及びホースを接続する際には確実に結合されていることをご確認ください。特に差込式の継手の接続が不確実な場合には、放水圧力によって結合が外れ、器具類が飛ぶ可能性があり大変危険です。

・　送水中は結合の解除装置には触れないでください。

・　定期的に点検を行い、異常を見つけた場合にはメーカーへ修理をご依頼ください。

参考　他製品





